

五輪 観戦

子どもの 動員中止を



日本共産党東京都議団 知事に要請

問題 山積

学校連携観戦

◆東京五輪・パラリンピックに東京都だけで90万人の児童・生徒を動員

- ◆公共交通機関で3密が避けられない競技会場に連れて行く
- ◆5月に作成するとしていた「観戦の手引き」もいまだ完成せず
- ◆感染防止を図りながらの教員らの引率の負担増
- ◆マスク着用による熱中症のリスクの増加も考慮されていない
- ◆都教委が、各学校がいつどこで、どの競技を観戦するのかのスケジュールを非公表とし、保護者にすら知らせていない学校もある

学校連携観戦の計画をスクープした「しんぶん赤旗」日曜版(5月2・9日合併号)→



日本共産党東京都議団と東京都委員会は6月21日、小池百合子知事と都教育長宛てに、東京五輪観戦に都内約90万人の子どもたちを動員する学校連携観戦の中止を要請しました。

都議団は都として学校連携観戦を中止するとともに、
▽区市町村や学校の参加の意向の確認
▽参加キャンセルが可能なことの周知
▽各学校の観戦割り当ての公開
▽五輪中止を決断しコロナ対策に集中すること——などを求めました。

組織委員会が学校観戦の参加やキャンセル意向を各都県に求めていたにもかかわらず、東京都教育委員会は区市町村・学校に意向確認をしませんでした。都議団は、組織委からの確認を自治体に対して非公開にしたため現場が混乱していると指摘。都議団は「今からでもキャンセルできると周知すべきだ」と訴えました。

その上で、子どもにとって学校連携観戦がきわめてリスクが高いことなどを具体的に指摘(左囲み参照)しました。

応対した都担当者は「事実確認を行う」と答えました。

「五輪より命」—五輪は中止し、コロナ対策に集中を



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年6・7月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党